



Title	6. 同じ学生だからこそピア・サポーターが伝えられること：12月のピア・カフェ報告
Author(s)	藤原, 美津穂
Citation	北海道大学ピア・サポート活動報告書（平成23年度版）p.71-88
Issue Date	2012-03-31
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/49496
Type	report
Note	第2部: 可能性と多様性を提示するピア・サポート
File Information	06.fujiwara.pdf



[Instructions for use](#)

6. 同じ学生だからこそピア・サポーターが伝えられること

ー12月のピア・カフェ報告

藤原美津穂¹

1. 実施に至った背景

第2回ピアカフェは、5章で示されたように、後期の通常開室のみの活動が続いていた時期に生じた活動全体の停滞感や、サポーターのモチベーションの改善を図るために企画されたものだ。その理由は、2011年11月7日(月)~11日(金)までの5日間に、12時~18時の試行開室を行ったことが、ピア室のこれまで通常開室のありかたを振り返り、さらには自分たちの存在意義に及ぶまでを考える機会となり、以下のようないくつかの反省点や改善点が挙げられたからである。

- ・目的が無いと、その場所に人は行かない。

例えば、図書館には本を読みたいから、または、勉強したいから行く。

↓

ピアは何でもできるからこそ、利用目的があいまいなところがあり、人が利用しにくいのではないか。

↓

「ピア室にすれば〇〇が得られる」など具体的な利用方法を設ける必要がある。

- ・いまのピア室の利用目的は主に、自習、軽食、相談、イベントへの参加が挙げられるが、

自習、軽食、イベント = オープンスペースの利用

相談 = サポーターとのコミュニケーション

となる。「ピア室にすれば〇〇が得られる」という部分は、「相談」「イベント」に当てはまると思うが、主なこれまでの相談内容を集計したところ、大きく「履修関係」「道案内」

「文房具貸し出し」になっている。これから考えると、「ピア室は何をしてくれるところか」という点について、学生側に理解されている部分が少ないのではないか。

このような現状から、「ピア室にすれば〇〇が得られる」という明確な利用目的にあてはまる部分を新たに設ける必要があるのではないかと考えた。さらに、その提示方法として、サポーター自らが学生という立場であることが生かされるような方法が効果的であり、それが他の組織にはないピア・サポート室の価値なのではないか、ということに至った。そこで、これらを実施する方法として、第2回ピア・カフェが提案された。前回のカフェやこれまでの活動を振り返り、イベントを実施は、利用者にピア室の活動を知ってもらう方

¹ 北海道大学大学院工学院建築都市空間デザイン専攻 修士課程

法として非常に有意義だという結果になっていたからである。

前回のカフェでは、ピア・サポーターをより身近に感じてもらうために、サポーター各自が興味を持っていることや趣味に関する装飾を行ったが、その部分に当たるところについて、今回は「サポーターが所属する学部学科の紹介」を提案した。今年度からは総合入試による新入生がいて、1年生は進路選択に関する情報をほしがっていることは、日々の通常業務中でも感じている点であった。「ピア・サポート室にすれば、学部学科に関する情報が得られる」、「ピア・サポーターは進路選択に関しての相談に応じてくれる」ということを知ってもらうことで、今後進路関係についての疑問・悩みが生じたときに、解決方法の一つとしてピア室に足を運んでもらうことを期待した。また、各学部で行われている学部説明会などで紹介される情報は、主に授業や研究に関することが多いと思われるが、今回のピア・カフェでは、その学部学生にしか分からない情報、例えば時間割や生活スタイル、学部独自のイベントなどを、各サポーター自身の経験を踏まえて提示することで、利用者に具体的な学部生活を知ってもらうことができる、と考えた。

カフェ形式をとる理由としては、ドリンクを提供することで利用が増える上に、ピア室の滞在時間が増えるということが、前回のカフェから分かっており、その効果を今回も期待した。「カフェ」という場にひかれて来る利用者には、オープンスペースは休憩や自習としてのスペースだけでなく、情報提供も行っているということを知ってもらえる機会になる。また、滞在時間が増えるということは、それだけ装飾に目がいく時間が増えることにもつながる。

なお、この企画が提案された後に出された「かまモン化計画」を立てる段階では、ピアカフェが後期の全体の活動方針の1つにも位置付けられる形となり、そのためピアカフェについては、ピアカフェそのものの企画目的と、かまモン化計画のうちの一つの計画としての目的の、2つの目的がある。本稿では、この2点それぞれについて述べるものとする。

2. 目的

①ピアカフェの目的(※第一回ピア・カフェの目的も含む)

- ・学生が一人でゆっくりできる空間を提供すること
- ・ピア・サポーターと学生間の直接的な交流を生む
- ・サポーターが所属する学部学科紹介をすることで、「ピア・サポート室では進路に関する相談も出来る場所だ」ということを知ってもらう

②かまモン化計画におけるピアカフェの目的

かまモン化計画では、1年生に対して、進路の選択肢が多数あることを紹介し、充実した学生生活のヒントを提示することを目的としている。この計画を行うために、まずは、現1年生がどのような学生生活を送っていて、いまの自分の状況に対してどのように思っているのか、またどんな情報を必要としているのか、について把握する必要がある。そこで、ピアカフェ期間中を利用して、利用者に対して現在の学生生活に関するアンケートを実施することとした。アンケートの対象者は、学年を問わず、ドリンクを注文した利用者全員

としている。アンケートについては、「3.5 アンケート」で述べる。

ここで、1点注意したい事を述べる。前回のピアカフェでは、ピアカフェの開催を通じてピア・サポート室を周知するという意味が大きかったため、利用者数を増やすことを目的の一つにしていた。しかし今回は、ピア・サポート室の周知というよりも、利用者に対してサポーターが所属する学部についての情報提示を行うという意味が強いため、利用者数の増加は目的としていない。

3. 内容

3. 1 日程

今回のピア・カフェは、12月7日(水)~26日(月)の通常開室時間(月・水・金 12時~16時)内に行った。前回は通常開室日以外にも開催日時を設けていたが、先に述べたように、前回のピアカフェとは違い利用者数の増加を目的としないため、通常開室日以外にも開催する必要はないと判断した。また、現在のサポーターの人数や、12月には卒論・修論・博論提出などと重なるため学業との両立という面から、通常開室以外でシフトを組むことが困難だったということも、このような開催日程に決めた理由の一つである。

3. 2 告知方法

ピア・サポート室前と、1年生が授業を受ける教養棟の紅葉掲示板に、ピアカフェ開催告知ポスターを掲示した(図1)。さらに、休講情報等が発表される電光掲示板を使用させていただき、開催の告知をした。

また、ピア・サポート室の運営に携わられている松田先生が担当している授業では、ピア・サポート室の活動についても取り上げられている。代表がTAを行っているが、その授業の場をお借りして、ピア・サポート室の活動の一つとしてピアカフェの紹介をし、開催の告知を行った。

3. 3 メニュー

メニューは前回同様とした。(※ただし、アイスはアイスウーロン茶のみ)

コーヒー・カフェラテ・カフェモカ・ウーロン茶

3. 4 学部紹介シート

今回の装飾は、サポーターが自分の所属する学部学科について紹介したシート(A3サイズ)を作成し、オープンスペースの各テーブルに展示する、という方法をとった。ピアカフェとしては「学部情報を知れるイベント」、かまモン化計画としては「進路選択のヒントを提示」のための装飾となる。

学部紹介シートの一例(図2~4)を示す。内容はある程度の統一性を持たせるため、次の3点を含めてまとめることとした。



図1 告知ポスター

①右側：学部紹介

自分の学部の見どころ・教えたこと、○○学部しかないサークル活動、
おもしろい授業、イベント・・・など、所属学部にまつわること

②左側：自分の時間割

今期の時間割でも、数年前のものでも良いので、自分の学部生活の様子がわかるように
まとめる。比較のためにも2つ以上の時期についての時間割書く。

③最上部：自分の名前と学部学科

さらに、「授業以外のときはこんなことをしていた」とか、「この当時はこんなことに忙しかった」とか、吹き出しでコメントをつけたりして、見ている1年生が内容を想像しやすいものになるよう、各自が工夫をした。また、そういう情報が同じ学生であるサポーターが伝えられることであり、この学部紹介のミソではないかと思う。また、前回もそうであったが、カフェでドリンクを出すときに、この学部紹介の装飾がコミュニケーションのきっかけになるので、そのことを意識しつつ作るようにした。

藤原 美津穂 2006年 工学部環境社会工学系 入学 ⇒ 2007年 建築都市コース 分属
2010年 工学院建築都市空間デザイン専攻(空間構造環境学研究室) 入学

工学部 3年後期					
	月	火	水	木	金
1限	教職の授業	教職の授業	構造力学III	教職の授業	計画設計論
2限	都市計画	建築施工	建築生産	教職の授業	各種構造II
3限	防災計画		環境と設備の演習	建築構造設計演習	
4限	教職の授業	設計演習	都市環境計画		設計演習
5限					
18:00	専属免許取得を目指している中で、学部の空きコマに教職の授業を入れたいです。				
20:00	家へ帰り、教職の授業の課題に取り組み。		土曜日の設計演習課題の提出のため、一宿舎へ帰り宿屋。	明日の提出へ向けて、宿屋でも作業...	
22:00			その後建築課へ戻り、1限の授業へ。		
工学院 修士2年					
	月	火	水	木	金
10:00	研究室にて修士論文の研究	研究室にて修士論文の研究	研究室にて修士論文の研究	研究室にて修士論文の研究	研究室にて修士論文の研究
12:00	ピア・サポート	セミナー発表の準備	(昼休み) いけぼりお稲古	研究室にて修士論文の研究	ピア・サポート
14:00		セミナー研究の経過報告を発表			
16:00			研究室にて修士論文の研究		
18:00	研究室にて修士論文の研究	研究室にて修士論文の研究		バイト	研究室にて修士論文の研究
20:00					
22:00		帰宅	帰宅		



北工会文化祭
北工会という文化系同好会があります。私はいけば同好会です。茶道、書道なども。学内でお稽古しています。

工学部運動会
工学部では6月に運動会をします。3年生が中心となり豪華景品を狙います！冬には綱引き大会も。

図2 学部紹介シート例1

1年後期

1限				英語で学ぶ 教育学	
2限	韓国語Ⅱ	空コマは一人 で授業で勉強して いることが多かった		学生支援における ピア・サポートを考 える	英語Ⅳ
3限			韓連文化の歴史的 展開	日本文化をめぐ るまなざし	
4限	英語Ⅲ	体育学A			韓国語Ⅱ
5限	日本美術史 入門	教職入門	韓国語基礎 の完成		

2年後期


1限	基礎演習で初学期に行っ て、子どもたちがどんな 遊びをしているのか観察 してきました	幼稚園に観察			教育心理学 実験
2限	発達心理学	教育臨床 心理学	教育行政論	教育心理学 特講	
3限	教育福祉論	社会福祉論			基礎演習Ⅱ 乳幼児発達論
4限	学習授業論		ピア・サポート		
5限	基礎演習Ⅱ 発達心理学	バイト			バイト

教育学部は4つの系に分かれます。私は教育心理学にすむつもりなので、心理系の講義を多く取っています。同じ系にいく友達とは違うような講義を取っている事が多いです。

教育学部 2年 水野愛海


2年夏休み 帰郷会宿

教育学部では1年の4月に日富青少年の家で帰郷会宿がありますが2年の夏休みには帰郷会宿があります！この会宿では、自分の興味があるゼミの先輩から話を聞けます。2年の後期の基礎演習Ⅱを逃がしたためにも参考になります。2日目の朝にはみんなでドッジボールなどのレクをします。



会宿の前に2年生全員に配られるゼミペーパーです。それぞれのゼミの先輩が書いたものでゼミの雰囲気やどんな事をしているのか、どんな先生がいるのかなど、各ゼミの様子を詳しく知ることができます！

←



お昼休み

教育学部の授業は人文棟の410でやる事が多いので、2限後はそのまま教室でご飯を食べる人が多いです。食堂に行く場合は中央食堂に行くことがほとんどです。

ゼミ選び

基礎演習Ⅱという授業は、必修の授業なのですが履修差違1つしか差違できないのでいくつも受講しても単位にはなりません。ですが、3年でどのゼミに行くのかを決めるためにいくつかの基礎演習に出てみる人もいます。私も発達心理学ゼミと乳幼児発達論ゼミのどちらに行くか迷っていたので2つ出ています。

☆履修紹介☆

発達心理学（月曜2限）
私が今一番興味がある授業です。この講義では、発達心理学研究で有名なピアジェやヴィゴツキーという人たちの考え方から、子どもの遊びや表現について勉強します。
教育心理学実験（金曜1、2限）
この授業は教育心理系のゼミに進む予定の人は取っている人が多いです。実際に実験をしながら実験や統計の仕方、レポートの書き方などを教えてくれます。

教育学部に入ったけど何をやりたいかわからないという人もいます。私は子どもが好きというだけで教育学部に入って何をやりたいかは考えていませんでした。2年前期には必修科目で教育概説Ⅰ～Ⅳという講義があり、教育学部のいろいろな分野の講義をきくことができるので、どんなことをしたいか決まってくるかもしれません。

図3 学部紹介シート例2

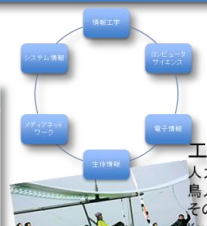
情報エレクトロニクス学科
情報工学コース

情報工学コース 3年次後期

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
1講			演習		実験
2講	アルバイト	ゼミ	演習	ナチュラル コンピュー ティング	実験
3講		ヒューマン サイバネ ティクス	社会情報 ネットワ ーク	人工生命	
4講	実験	実験	アニメ ーション工 学	ゼミ	ロボット情 報学
5講	実験	実験			英語ゼミ

・情報エレクトロニクス学科は3年次後期までほぼすべての卒業単位を取り終えるので、3年生が一番授業数が多い！
 ・週3の実験、週1の演習では、プログラムをガチガチに書きます！！
 ・私のコースでは、座学よりも実践的なプログラミングの授業が多いです！

情報工学コース 3年 浅井俊行




情報エレクトロニクス学科では、6つのコースがあり、ソフトウェアからハードウェアまで、電気に関わるものすべてが研究対象です。人間だって研究対象です！

工学部だからこそのサークルが充実！
 人力飛行機作成サークル「Northern Wings」は昨年、鳥人間コンテストに参加しました！！
 その他にも、マイクロコンピュータ研究会、Open Dunga、Kawaz(コンピュータ系)、Robot Architect(ロボット系)、Ormura Team(車系)などがあります。

今、熱いモノ。それは、IT

北大発IT系ベンチャー企業！！



あなた情報マガジン **びもる**

調和系工学研究室で現在進行中のベンチャー企業です。札幌のお出かけ情報を毎日発信中！会員登録すれば、自分に合わせた情報が提供されます！！さらに、すてきな商品も当たるかも！！

研究した成果を即、実践へ結びつけることができるのは情報系だからこそ！

図4 学部紹介シート例3

3. 5 アンケート

カフェ利用者の学生生活について調査するために実施したアンケートを章末に資料として添付する。このアンケートによって得られたデータは、かまモン化計画でカフェに引き続き行われる「本活」、「学部紹介イベント」に引き継がれる。また、問 9 のインターシップに関する質問は、1月に控えたキャリア支援室との連携イベントで使用するために設けられた。

4. 結果

4. 1 利用者数および注文数

	入室者	オーダー					合計
		コーヒー	カフェモカ	キャラメルラテ	ホットウーロン茶	アイウーロン茶	
12月7日	97	7	14	20	1	1	43
12月9日	45	7	5	14	1	0	27
12月12日	54	7	5	15	0	1	28
12月14日	54	5	8	11	0	1	25
12月16日	53	3	5	10	1	0	19
12月19日	73	6	8	15	3	0	32
12月21日	55	5	10	15	4	0	34
12月26日	69	8	7	16	2	3	36
合計	500	48	62	116	12	6	244

入室者のカウント方法は、通常開室の際は目視によりカウントを行っているが、イベントの際には、ビデオを設置し撮影、解析を行うことで入室者をカウントしている。イベント時には、通常開室時と比べ、サポーターの作業が増えるために、オープンスペース側にスタッフが誰もいなくなる時間が生じる。そしてその少しの間に、何人かの来室者が出たり入ったりしてしまい、カウントできていないことがある。これまでの経験上、このような場合には、手でカウントした人数とビデオでカウントした人数の誤差がかなりあることが実証されている。また、ビデオ撮影により、より正確な入室者数を知ること、客観的なデータとして様々な場面で提示できる。というメリットもある。

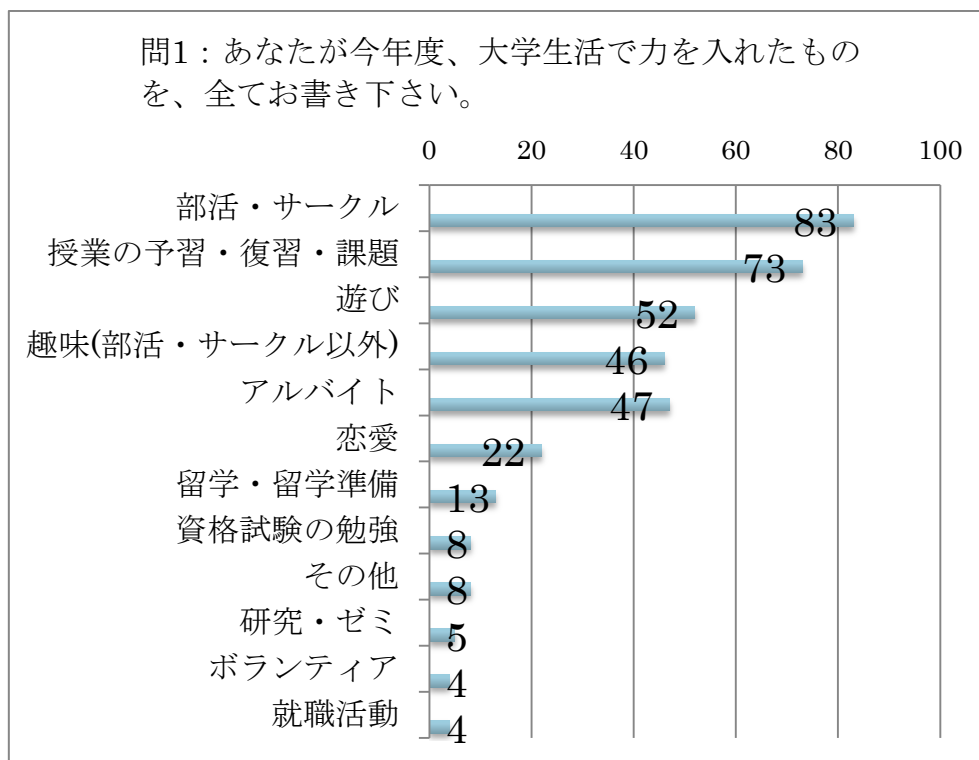


写真1 ピアカフェ開催中の様子

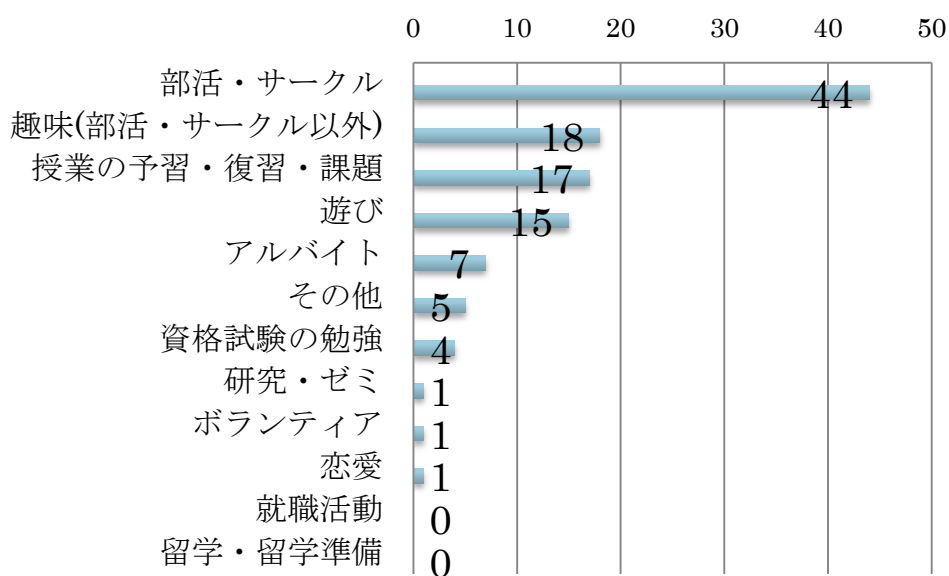
4. 2 アンケート結果

118 名から回答を得た。

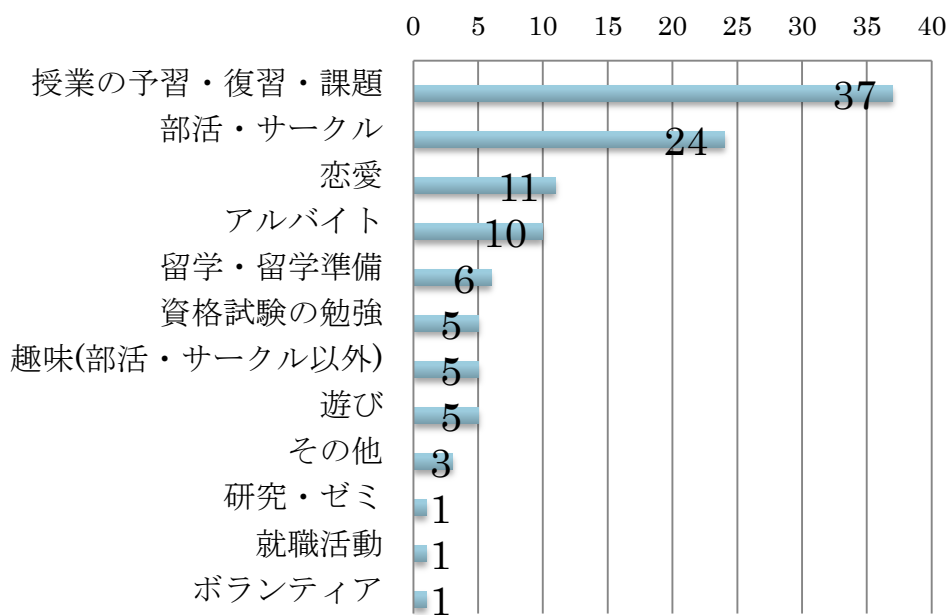
学部		学年		性別	
総合理系	29	1	107	男	71
総合文系	1	2	2	女	47
文学部	8	3	3		
経済学部	21	4	1		
法学部	23	その他	2		
教育学部	0	無記入	3		
理学部	1				
工学部	10				
農学部	2				
医学部	7				
歯学部	3				
薬学部	1				
獣医学部	1				
水産学部	6				
その他	2				
無記入	3				



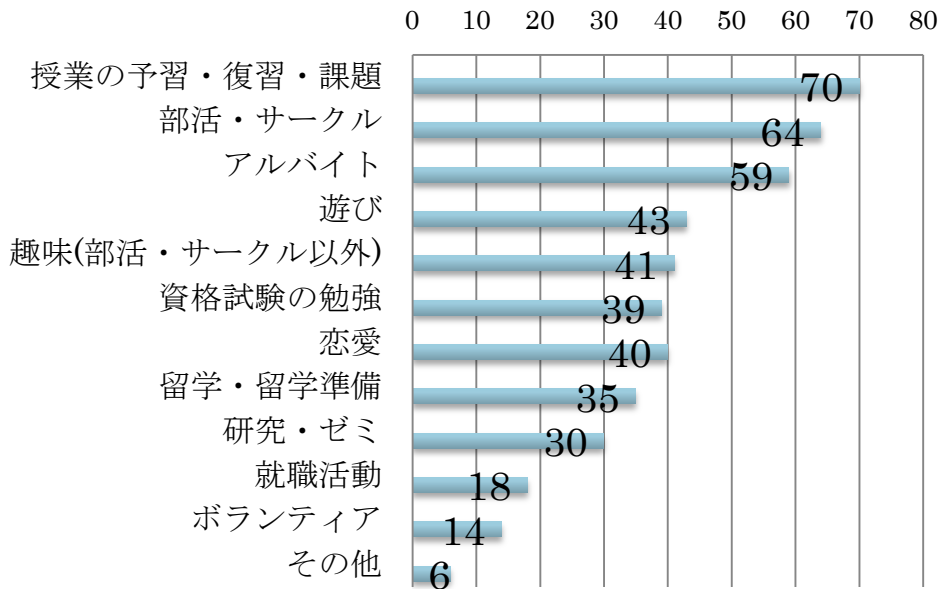
問2：今年度、力を入れて、もっとも満足できた活動を、
問1の回答の中から1つお答えください



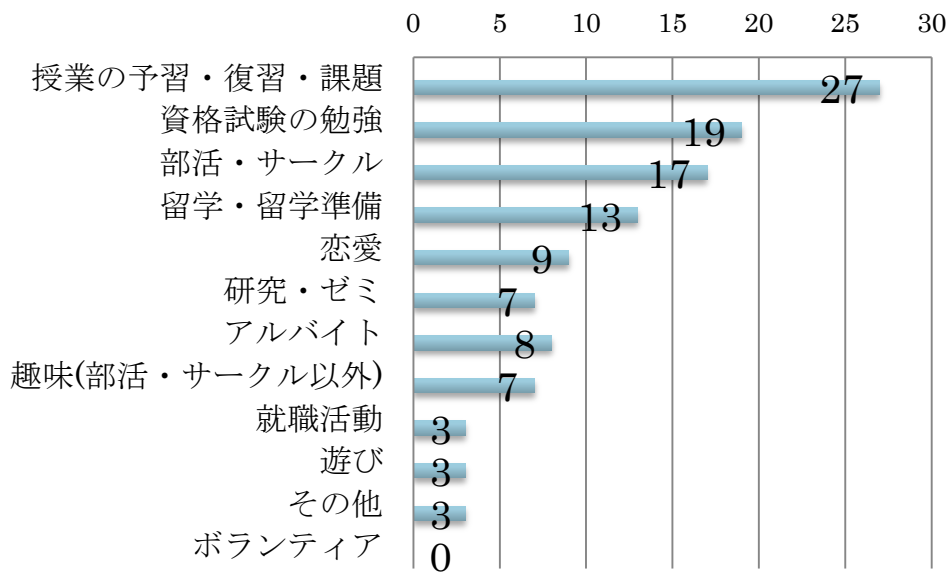
問3：では、力を入れたものの、満足できていないも活動を問1の中から1つお答えください。



問4：今後の大学生活で力を入れたい活動を、全て選
んでお書きください。



問5：問4の中で、今後最も力を入れたい活動を
答えて下さい。



6. 問4・5の回答に関して、今後力を入れるにあたって、何か不安や心配なこと、先輩に聞いておきたいことはありますか。もしありましたら、どんな細かいことでも構いませんので、ご自由にお書き下さい。(回答の一部抜粋。)

就職	法学部	1	男	就職活動はどのようなものなのかを知りたい
	経済学部	1	女	就職に必要な資格はどれくらいあるのか。どんな物を取っておけば有利か
	法学部	3	女	就職活動は全くしないつもりなのですが、本当に資格試験に受かるか不安です。
	工学部	4	女	就職のために試験勉強と研究生活の両立
	歯学部	1	女	現在歯学部の1年ですが、今の歯科医療の現状を考えると年後の就職のことがかなり心配です。今からやっておくべき勉強は一体何なのか教えていただきたいです。
	法学部	1	女	就活について、先輩の体験談。
	文学部	3	男	就職活動に伴う、最低限身につけておくマナーについて
	法学部	1	男	就職のための勉強や今のうちにやっておくべきこと
留学	法学部	1	女	来年の3月にドイツに短期留学(2週間)する予定なのですが、留学は初めてなので不安です。なにか注意すべきこと、知っておいた方がいいことなどお聞きしたいです。
	水産学部	1	男	スペインへ留学するつもりなのですが、やっていけるのか心配です。留学経験者の話を聞ける機会が会ったら助かります。
	歯学部	1	女	留学についてはどんなことでも知りたいです。注意点などあればぜひ。ちなみにフランスに語学留学したいと思っています。
	文学部	1	男	元々、留学に一切興味が無かったので、手探りな状態です。いろいろ聞いてみたい事があります。
	総合理系	1	男	留学の条件がよくわからない
授業	法学部	1	男	学部の授業のどれくらい忙しくなるのか気になる
	総合理系	1	女	図書館に多くの参考書があるが、どれが使いやすいのか、分かりやすいのかが良く分からず困ることがある
	工学部	1	男	日本の高校に入っていないから、数ⅠⅡⅢをやっていない、とてつもなく不安。
学部移行	総合理系	1	女	GPA がつらいです。
	総合理系	1	男	部活がきつい。行きたい学部にいけない。
	総合理系	1	女	総合理系でどのくらいの移行点を取れば希望する学部に行けるのかということ。
学部移行	総合理系	1	男	農学部の生物資源学科に行きたいのだが、これらの学

後のこと (ゼミ・大 学院など)				科に関する情報がほしい。できればホームページや資料 などから分かることだけでなく、体験談などの生の声が 聞きたい。
	法学部	1	女	院のことはなかなか学部1年生の耳に入っていないこと が多いです。(サークル等は3~4年で皆引退してしまう ため)学部学科別の院への進学率とかあるとよいかも。
	経済学部	1	男	3・4年のゼミの仕組みが学部1年には分からないので、 どんな研究をしているのか?アルバイトやサークルとの 両立は可能か?就職との兼ね合いは?
水産学部	水産学部	1	男	函館移行後のアルバイト先が心配です。今のサークル に3年間痛いけど、2年間しかいられないので、自分で 進んだ道が心残りです。
生活	法学部	1	男	大学生活にリズムを生みだすにはどうすればよいか。 安くて沢山ご飯が食べられるところの情報が欲しい。
	経済学部	1	男	入学して間もなく1年のなるが、まだ大学生活が漠然とし ていて、具体的にどんな準備をして2年、3年に進んでい けばよいのか分からない。
	経済学部	1	女	集中できなくなった
	総合理系	1	男	勉強しなさ過ぎて不安です。別に単位はおとしてはいな いのですが。あ〜…心配。
両立	法学部	1	女	サークルが忙しすぎて勉強やアルバイトの時間がなかな か取れないこと。留学や将来の仕事のことなど考える機 会や時間があまりない。
	経済学部	1	男	アルバイトのしすぎで予習・復習・課題に取り組む時間が 短い。
	文学部	1	女	教職をとりたいと思っているのですが、2年から結構忙し くなると聞いて、自分の専門の授業と両立していけるか 不安です。
	法学部	1	男	2年生で教養を取ろうと考えていますが、専門の授業と 並行して学習できるかどうか
資格	法学部	1	女	大学生が取れる資格について知りたいです。
	総合理系	1	男	TOEFL・TOEICの点が取れるかどうか。
経済面	総合理系	1	女	部活するのにお金がすごいかかる。
人間関係	歯学部	1	女	部活の後輩が来年出来ると思いますが、うまく接するこ とができるか不安です。
恋愛・出 会い	法学部	1	男	どこにいったら出会えますか?
	法学部	1	男	この先大学生活で彼女が出来ないのではないかという

				不安
不安	-	1	男	不安が無いことが不安です
	経済学部	1	女	何から手をつけたらいいのか、わからない。
その他	総合理系	1	男	個人的に教養をつけようとしてネットから情報を得ようとしています。新しく興味が持てるような内容に出会うためにするとよい方法はありますか。

7. 現在、ピア・サポート室内の机には、ピア・サポーターが所属する学部の紹介を行っています。今後、皆さんが知りたい学部生活の様々な情報を提供して行く予定です。あなたが知りたいことをご自由にお書き下さい。(回答の一部抜粋)

文学部	文学部	1	女	私は文学部なので、色々な講座がどんな研究をしているのか知りたいです。数が多すぎて…
	文学部	1	女	卒論へどうやって取り掛かっていくのかというのが人それぞれだとは思いますが、知りたいです。
	文学部	3	男	学部3年ではありますが、文学部のコース分属についての情報などあればと思います。
法学部	法学部	1	男	法学部で法曹にならない人が利用できるようなものを作ってほしい
	法学部	1	男	法科大学院の入試形態
	法学部	1	男	教授の日常生活、司法試験について
	法学部	1	女	学部生が1年生と生活が変わったと感じる点。勉強や諸活動の両立を知りたいです。
	法学部	1	女	学部生はどれだけ忙しいのか(学部生の1週間の生活などを知りたい)どのような進路を選ぶ人が多いのか
	法学部	1	男	専攻について、就職活動について
	法学部	1	女	院試のこと、卒論のこと、将来のためにいま出来ること
経済学部	経済学部	1	女	学業・アルバイト・部活などをどうやって両立させているのか等を知りたいです。
	経済学部	1	女	自分の学部の先輩の生活スケジュールの例など知りたいです。
	経済学部	1	男	ゼミ活動というのどのような仕組みで行われているのか(いつゼミを決める?決め方は?2年、3年でもサークルとバイトなどとの両立可能?)を知りたい。
	経済学部	1	男	経済学部の勉強は大変ですか?
工学部	工学部	1	男	工学部情報エレクトロニクス生体情報コースの実態
	総合理系	1	男	工学部について。就職先。
	総合理系	1	女	工学部志望なんです、学科やコースが違っても同じよ

				うなことではないですか？その辺を詳しく知りたいです。
	工学部	1	男	建築学生の一日常
農学部	農学部	1	男	学科分属後の様子、就職したらどのような内容の仕事になるのか
医学部	医学部	1	女	保健学系の就職について。
	医学部	1	男	2年生になったら忙しくなるのか、それとも楽になるのか
	医学部	1	女	時間割やどんな授業なのか知りたいです
歯学部	歯学部	1	女	大学卒業後にどのようなことをしているのかわかっただいいです。また、院の進学状就なども知りたいです。医学系の情報もいろいろ知ることができたらいいなと思います。
薬学部	薬学部	1	女	薬学部についてですが、学科間の違いなどが分かると良いなと思います。
水産学部	水産学部	1	男	水産学部に所属していますが、函館の様子をいまいちつかめていません。なので向こうが今どんなかを知れたら嬉しいです。
	水産学部	1	男	函館移行後の生活(アルバイトとか学業とか…仕事がありませんと聞くので…)大学後の就職等について
特定の学部以外で、学部生活や専攻について	総合理系	1	女	どんな場所で学部生活をおくっているのか(施設、雰囲気など)
	総合理系	1	女	授業以外にどんな勉強をしていたのか
	総合理系	1	男	研究室に配属された後はどんな感じなのか。自由度はどのくらいなのか。一年で学んだことがどれくらい要求されるのか。1年次の履修科目で二年時以降有利になったり不利になったりするのはいくらあるのか。
	工学部	1	男	学部別のイベントみたいなものについての情報が知りたいです。
	総合理系	1	女	一日のスケジュール等。授業の内容。
	総合理系	1	女	学部によって忙しさはかなり違いが出るのかな？
	総合理系	1	男	趣味の時間をどう作るか。(学業が忙しい中で)
	総合理系	1	女	同じ学部でも学科等によってどの程度ちがうのか。一年生時と比べ、どれ位生活が変わるか。
	文学部	1	男	何か学内の穴場的場所、寝たい
	経済学部	1	男	文系の建物が一つになってるのは文系どうして交流できるということなのかどうか
	工学部	3	男	他の学部・学科で聴講してみたら面白い!!というのが知る

				ことが出来ればいいな—と思いました。 「面白い」というのは主観的なのでアレですが…。
学部移行 関係	総合理系	1	男	どうしたら農学部に行けるのか…
	総合理系	-	女	行きたい学部が2つあるが(教か法)民事法の授業が重なっていて履修出来なかったので法に進んだ時について行けるか不安。
	総合理系	1	女	北大で「大学入ってやりたいこと変わったから学部変える」的なこと話しているの聞いたことあるんですけど、もし行きたくない学部に移行しちゃったら、2年以降で他の学部に移ること出来るんでしょうか…

問 8 現時点であなたの将来について当てはまるものに○をつけて下さい。

A やりたいことが決まっている	45
B まだ決めていないが、時々考えている	64
C 今はまだ考えていない	8
無記名	1

問 9 進路を考える手段としてインターンシップがありますが、以下の質問に○をつけてお答えください。

・インターンシップを知っている

YES 85

NO 31

無記名 2

・インターンシップの機会があれば参加したい

YES 61

NO 48

参加したことがある 2

その他 1

無記名 6

5. 考察

今回は第2回目のカフェということもあり、ドリンクの作成においてはサポーターがある程度慣れていて、それでも、初日に100人近い入室者があつた際には、シフトのサポーター2名では足りず、都合がつくシフト外のサポーターの力も借りて行うような状態であった。盛況な時間帯はほぼ満席で、席がなくやむなく帰ってしまう方もいた。また、グループでの利用だけでなく、1人や2人で訪れている方も多く、ほっと一息温まれる場所として利用されていたと思われる。今回のカフェに限らず、人数が大切なのではなく、コミュニ

ケーションの内容を重視されることは言うまでもないが、混んでいた際には奥でドリンクを作る側も、オープンスペースでオーダーをとるほうも精一杯で、忙しい時間帯には余裕がなく、利用者に丁寧に声をかける機会が少なくなることもあったのが残念だった。

学部紹介シートについては、計画当初は、勉強の邪魔にならないように、机に貼ることとしていた。しかし残念ながらそれが逆効果で、存在感が薄くなってしまい、勉強のノートや、トランプの下に隠れてしまっていた。ドリンクを出す際に「今回は学部紹介をしています。学部選択の参考にしてください。」というような内容を利用者に言うと、勉強の合間など学部紹介シートを手にとって見ている様子が見えかけた上、アンケートからは「学部の情報、生活の情報がほしい」というような解答があったので、今回の展示内容に需要があることは確かであった。今回は改善策として、掲示しているポスターに「学部での生活の様子や時間割を紹介しています」という主旨のコメント付け加え、学部紹介シートは机に貼らないで机の上におく、という方法に変更した。また、アンケートの質問項目に、学部紹介を見て答える項目があったため、複数のシートを参照できるように、机に置く以外の閲覧用のシートも何枚か作成することで、対応した。展示方法については、前回のカフェと同じく、いつも苦勞する点だが、利用者の動向を見ながらメンバー間で話し合い、臨機応変に変化させて対応させることができていると思う。何を、どのように伝えるべきかは、各イベントでメリット・デメリットがあるが、それぞれの場面で苦勞しながらも深く考え、そして解決することで、メンバーの経験がさらに養われているように感じる。

アンケートの結果は今後の活動の中で参考にしていくものだが、とても興味深いデータを得ることができた。「勉強に力を入れたいと思っている学生が多いが、それと並行する他の活動(バイトやサークル活動)との両立が大変で、学部に移行したらスケジュールがどのようになるのか…」というような意見が多い印象を受けた。また、なんとなく不安があったり、何から手をつけるべきか分からないという漠然としたものを持っている、という回答もあったが、今後のピア・サポート室は特にこのような回答に対して、多様な選択肢があることを提示していけるのではないかなと思う。

今回のカフェというイベントのなかにおいて、サポーターが作成した学部紹介シートは、「ピア・サポート室では学部に関する相談が出来るところだ」と認識してもらうための材料であった。また、かまモン化計画においては、学部生活を紹介することで1年生に「これが知りたかった」「そういえば・・・はどうなっているのだろうか」など、自分が日ごろ考えていた疑問点を整理して出してもらうための、あくまでも「ヒント」を提示しているものである。どちらの目的についても今回の結果が今後の利用者の変化や、かまモン化計画の他のイベントにつながっていくものである。イベント自体は終わっているが、このイベントが私たちの活動にどう影響していくのか期待したいところである。

[資料]

本日はピア・カフェにお越しいただき、ありがとうございます。

ピア・サポートは、「学生による学生支援」を行う組織です。今回は、皆さんの大学生生活の疑問や心配事をお聞きし、

サポーターや皆さんの先輩方が大学生生活の1つのモデルを示す形でお答えする企画を実施いたします。

気になることがありましたら、お気軽に何でもお書き下さい。ご協力よろしくお願ひいたします。

I まずはあなたのプロフィールをお聞かせ下さい。

学部… 総合理系 ・ 総合文系 ・ _____ 学部

学年… _____ 年生 性別… 男性 ・ 女性

これまでのピア・サポート室の利用回数… (今回を入れて) 計 _____ 回

II. これまでの大学生生活についてお聞きします。

A 授業の予習・復習・課題 B 研究・ゼミ C 資格試験の勉強

D 部活・サークル E アルバイト F 就職活動

G 留学・留学準備 H ボランティア I 恋愛

J 趣味(部活・サークル以外) K 遊び L その他

1. あなたが今年度、大学生生活で力を入れたものを、左の枠内から選んですべてお書き下さい。

(_____)

2. 今年度、力を入れて、最も満足できた活動を問1の回答から1つお答えください。

3. では、力を入れたものの、満足できていない活動を問1の回答から1つお答えください。

4. 今後の大学生生活で力を入れたい活動を、上の枠内からすべて選んで下さい。

(問1～3の回答と同じでも構いません)

(_____)

5. では、問4の中で、今後最も力を入れたい活動を1つお答えください。

6. 問4・5の回答に関して、今後力を入れるにあたって、何か不安や心配なこと、先輩に聞いておきたいことはありますか。もしありましたら、どんな細かいことでも構いませんので、ご自由にお書き下さい。

(_____)

Ⅲ. 学部に関する情報についてお聞きします。

7. 現在、ピア・サポート室内の机には、ピア・サポーターが所属する学部の紹介を行っています。今後、皆さんが知りたい学部生活の様々な情報を提供して行く予定です。あなたが知りたいことをご自由にお書き下さい。

[]

Ⅳ. あなたの進路への関心についてお聞きします。

8. 現時点であなたの将来についてあてはまるものに○をつけて下さい。

- A. やりたいことが決まっている
- B. まだ決めていないが、時々考えている
- C. 今はまだ考えていない

9. 進路を考える手段としてインターンシップがありますが、以下の質問に○をつけてお答えください。

- インターンシップを知っている

YES · NO

- インターンシップの機会があれば参加してみたい

YES · NO · 参加したことがある